

科学館の



コレクション

41

ダルムサラ隕石

資料登録番号
CH-2012-9

隕石は、宇宙から地球に落ちてきた石です。このダルムサラ隕石は1860年7月14日にインドに落下してきた隕石です。展示している標本は、この隕石を切断して、断面が良く観察できる状態になっています。

隕石と一口に言っても、実はいろいろな隕石の種類があります。ダルムサラ隕石は、コンドライトの中で、LL6というタイプに分類されている隕石です。

隕石は、小惑星の破片が地球に落下したものだと考えられています。隕石のこまかな分類の仕方はここでは詳しく述べませんが、科学館の展示場4Fの「地球・宇宙をつくるもの」に展示されている隕石の展示では、さまざまな種類に分類されている隕石を展示しています。そして、そのさまざまな隕石の分類に対応して、小惑星にもさまざまな種類が存在しているであろうと考えられています。しかし、現在のところ、小惑星の分類と、隕石の分類はどのように対応しているかよく分かっていないのです。

その中で、小惑星探査機「はやぶさ」が小惑星イトカワを探査したところ、イトカワの岩石は、隕石の分類でいうLL5もしくはLL6タイプの岩石と同質であることが分かりました。

このダルムサラ隕石は、LL6タイプに分類されている隕石です。つまり、小惑星イトカワは、この隕石と同じような岩石でできている、というわけです。この標本は、科学館の他の隕石とは少し離れて、展示場4F「小惑星探査機はやぶさ」の展示コーナーに展示しています。ぜひ、ご覧下さい。



飯山 青海(科学館学芸員)